

第2次光市環境基本計画の取組状況について (令和2年度)

令和3年8月
光市環境政策課

目 次

●みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト		1
●みんなで創る エコまち推進プロジェクト		3
●みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト		7
●みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト		12
●みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト		15

1 みんなで輝く LEDで光るまちプロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例		公共施設におけるLED照明導入の推進	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
明るく環境にやさしいLED照明の導入を推進するため、公共施設においても積極的な導入に取り組む。		・学校施設について、LED照明に更新した。 ●小学校(体育館):11校 ●中学校(体育館及び武道館):5校 ・体育施設の高所照明について、LED照明に更新した。 ●光市勤労者体育センター:28基 ●サン・アビリティーズ光:24基 ●光市スポーツ館:21基 ・テクノキャンパス研修センター体育室の照明について、LED照明に更新した。 ・本庁舎における蛍光灯を用いた照明器具について、安定器の交換が必要なものは、部品交換ではなくLED照明器具への交換を行った。 ・教育委員会庁舎について、一部の照明器具をLED照明に更新した。	・公共施設における照明器具の不具合が生じた際には、財政的観点に加え、照度の向上や省エネの観点も踏まえ、LED照明への交換を行う。 ・学校施設において、トイレ洋式化への改修に合わせ、LED照明への交換を行うとともに、老朽化等により不具合が生じた照明設備について、随時LED照明への交換を行う。
担当課	環境政策課 総務課 関係各課		
施策や事業の展開例		LED照明の導入促進	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅にLED照明の導入促進を図る。		・省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅におけるLED照明の導入に対する補助を行った。 ●補助件数:126件	・省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅におけるLED照明の導入に対する補助を行う。
担当課	環境政策課		
施策や事業の展開例		街路灯・防犯灯のLED化の推進	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
街路灯や防犯灯について、LED照明への交換を推進する。		・防犯灯の新設・更新はLED照明とした。 ●新設・更新:32灯 ・689灯の街路灯について、老朽化した街路灯を優先的にLED照明に更新した。 《令和3年3月末時点の設置数》 ●LED照明:15灯	・引き続き、防犯灯の新設・更新はLED照明とする。 ・引き続き、老朽化した街路灯を優先的にLED照明に更新する。
担当課	生活安全課		

施策や事業の展開例 LEDの活用による「光」の名の発信の推進		
概要	令和2年度 of 取組状況	令和3年度 of 取組み
「光」の名を有するまちとして、LEDを活用した知名度の向上を推進する。	・LED照明の普及を目的とした省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施した。 ・体験型イベントである「LET'S! エコまるチャレンジキャンペーン」の参加者にLEDランタンを贈呈し、LEDの普及と知名度向上に取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。	・LED照明の普及を目的とした省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施する。 ・イベントを活用したLEDの普及と知名度向上を図る取組について、今後研究を行う。
担当課		
関係各課		

●数値目標

環境指標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①LED照明を導入している公共施設数	3件	26件	10件	328.6%
②街路灯のLED化率	0.5%	2.2%	3.0%	68.0%
③家庭でLED照明を導入している人の割合	59.1%	—	85.0%	—

2 みんなで創る エコまち推進プロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例				省エネルギー製品の導入促進	
概要		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施計画	
地球環境への負荷低減を目的に、自らが所有する住宅に省エネ設備の導入促進を図る。		・省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅における省エネ製品(太陽熱利用システム、複層ガラス・二重サッシ)の導入に対し補助を行った。 ●補助件数 太陽熱利用システム:1件 複層ガラス・二重サッシ:15件		・省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)を実施し、住宅における省エネ製品(太陽熱利用システム、複層ガラス・二重サッシ)の導入に対し補助を行う。	
担当課					
環境政策課					
施策や事業の展開例				次世代自動車の導入及び普及促進	
概要		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施計画	
公用自動車への次世代自動車の導入を推進するとともに、普及促進を図る。		・農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器の維持管理を行った。		・農業振興拠点施設「里の厨」に設置した急速充電器の維持管理を行う。	
担当課					
環境政策課					
施策や事業の展開例				公共交通機関の利用促進	
概要		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施計画	
交通事業者等との連携により公共交通機関の利用促進を図る。		・「光市地域公共交通網形成計画」の施策の展開例に掲げる取組みを推進した。 ・県下一斉ノーマイカーデーに協力した。 ・毎月月末金曜日(プレミアムフライデー)に「ecomaruパス」の利用により、市内の停留所で乗降するバス運賃が半額になる取組みは、新型コロナウイルス感染症対策として、4月以降、半額券の配布を休止した。 ・全国で相互利用できる交通系ICカード導入を支援し、光市公共交通マップへの掲載など利用促進を図った。		・「光市地域公共交通網形成計画」の施策の展開例に掲げる取組みを推進する。 ・県下一斉ノーマイカーデーに協力する。 ・主にマイカー通勤者を対象とした、毎月月末金曜日におけるバス乗車運賃の半額化キャンペーンを実施する。	
担当課					
公共交通政策課					

施策や事業の展開例		市域全体での省エネルギー運動の促進	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
各主体が連携・協働し、市域全体での省エネルギー活動を推進する。		- 市域全体でのCO2などの温室効果ガス排出抑制や環境問題に対する意識の醸成を図るため、バス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日（プレミアムフライデー）に実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症対策として、4月以降、半額券の配布を休止した。 ●ecomaruバス利用実績：539枚 - 家庭での電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」について、夏季、冬季の2回実施した。 ●参加世帯数：夏季102世帯 冬季123世帯	- 市域全体でのCO2などの温室効果ガス排出抑制や環境問題に対する意識の醸成を図るため、主にマイカー通勤者を対象にバス運賃が半額となる「市民一斉ノーマイカー運動推進キャンペーン」を毎月月末金曜日（プレミアムフライデー）に実施する。 - 家庭での電気使用量の削減率を競う「省エネ活動キャンペーン」を夏季、冬季の2回実施する。 - 地球温暖化防止月間である12月に、日頃の実施状況を地球温暖化防止につなげることを目的として、市内の家庭や事業所等を対象に、夜間の一定時間消灯を行う「エコまるライトダウンチャレンジ」を実施する。
担当課			
環境政策課			
施策や事業の展開例		地球温暖化防止に関する情報発信及び啓発活動の充実	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
地球温暖化防止に資するため、関係機関と連携し、イベント等の活用による情報発信及び啓発活動の充実を図る。		環境問題に関する知識や理解を深めるため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で開催を予定していた「エコスタイルセミナー」は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。	環境問題に関する知識や理解を深めるため、光市地球温暖化対策地域協議会と協働で「エコスタイルセミナー」を実施するとともに、山口県地球温暖化防止センターと連携し、啓発活動を行う。
担当課			
環境政策課			
施策や事業の展開例		燃料電池自動車の導入	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
地球温暖化防止対策の一環として、水素を活用した燃料電池自動車の公用自動車としての導入を検討する。		導入の可否について判断するための情報収集を行った。	導入の可否について判断するための情報収集を行う。
担当課			
環境政策課			
施策や事業の展開例		太陽光等の自然エネルギーの導入及び利用促進	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施状況
公共施設へ太陽光発電システムを導入するとともに、家庭での自然エネルギーの利用促進を図る。		公共施設への導入について、対象となる施設はなかったが、引き続き情報収集を行うなど調査研究を行った。	公共施設への導入の今後の可能性について、引き続き調査研究を行う。
担当課			
環境政策課			

施策や事業の展開例		市の率先行動計画(エコオフィスプラン)の推進	
概要	本市の事務・事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制の取組みを推進するとともに、職員の環境意識の向上を図る。	令和2年度の取組状況	令和3年度の取組み
担当課	環境政策課	・本庁及び出先機関からの温室効果ガスの総排出量を、平成26年度比で5%削減するという目標に対して、7.0%の削減となった。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、公共施設の休館等により電気等の使用が大きく減少しているため、令和2年度数値は、目標に対する参考値とする。 ●平成26年度(基準年度) 13,204,263kg-CO2 ●令和2年度 12,274,462kg-CO2	・本庁及び出先機関からの温室効果ガスの総排出量を、平成26年度比で6%削減する目標に向けて取り組む。
施策や事業の展開例		地球温暖化対策地域協議会の活動支援	
概要	環境意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制のため、各主体が属する本協議会の活動を支援する。	令和2年度の取組状況	令和3年度の取組み
担当課	環境政策課	・地球温暖化防止に資する事業に対し、市として共催し支援した。	・地球温暖化対策地域協議会が実施する各種事業に、市として共催し、地球温暖化防止につなげる。

●数值目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①市域全体からの温室効果ガス排出量(全部門)	2,038 千t-CO ₂ (H26)	2,203 千t-CO ₂ (H29)	1,862 千t-CO ₂	△ 93.8%
②市域全体からの温室効果ガス排出量(民生部門)	209 千t-CO ₂ (H26)	149 千t-CO ₂ (H29)	181 千t-CO ₂	214.3%
③市の施設からの温室効果ガス排出量	13,135 t-CO ₂ (H28)	12,274 t-CO ₂	12,279 t-CO ₂	100.6%
④公共施設における太陽光発電システム設置件数	12件	14件	14件	100.0%
⑤路線バスの年間利用者数	598,194人 (H28)	540,205人	707,000人	△ 53.3%
⑥省エネルギーに心がけている人の割合	83.8%	82.8%	95.0%	△ 8.9%
⑦省エネルギーの推進など温暖化対策の状況に関する満足度	56.8%	—	70.0%	—
⑧自動車を控えて徒歩、公共交通機関や自転車を利用している人の割合	37.4%	—	45.0%	—

原則として、策定時の数値は平成29年度、近況値の数値は令和2年度としているが、把握が困難なものについては、()内に記載する年度の数値を掲げている。

●参考値

項 目	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)
太陽光など自然エネルギーの活用に関心がある人の割合	63.8%	64.0%

3 みんなで守る 水と緑 自然共生プロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例「自然敬愛都市宣言」のまちの周知		
概要 市民の自然敬愛意識を醸成し、自然環境の保全活動を促進するため、「自然敬愛都市宣言のまち」であることの周知を図る。	令和2年度の取組状況 ・様々な機会を通じて「自然敬愛都市宣言のまち」のPRに努めた。	令和3年度の取組み ・様々な機会を通じて「自然敬愛都市宣言のまち」のPRに努めるとともに、新たな周知方法の検討を進める。
担当課 環境政策課		

施策や事業の展開例クリーン光大作戦の推進		
概要 自然敬愛への自覚と意識の向上及び青少年の社会参加活動を促進するため、年1回の市域全体での清掃活動を実施する。	令和2年度の取組状況 ・第47回クリーン光大作戦を7月12日に実施した。 ●参加人数:8,107人	令和3年度の取組み ・第48回クリーン光大作戦を7月11日に実施する。
担当課 文化・社会教育課		

施策や事業の展開例アダプト・プログラムの推進		
概要 環境美化ボランティア・サポート事業により、身近な道路や公園を地域で管理するアダプト・プログラムを推進する。	令和2年度の取組状況 ・事業実施団体(18団体)に対し、ゴミ袋などの支給や、市民活動補償制度の適用などにより、活動を支援した。	令和3年度の取組み ・事業実施団体に対して各種支援を継続するとともに、市HP等による事業PRを行う。
担当課 地域づくり推進課		

施策や事業の展開例自然環境や景観と調和した光漁港海岸(室積海岸)の保全対策の推進		
概要 台風等により浸食された海岸の保全対策や高潮対策を推進する。	令和2年度の取組状況 ・室積海岸浸食の動向を確認するため、台風の影響について現地を測量調査し、シミュレーション結果との整合性について確認を行った。また、高潮対策の高潮堤防工事を行った。 ・補償対象となっている自治会館について、関係者と協議を進め、建物及び用地補償に向けた事前準備に取り組んだ。	令和3年度の取組み ・昨年度の業務の結果より、養浜事業計画の妥当性の確認を行う。また、高潮対策として高潮堤防工事を行う。 ・昨年度の事前準備より承諾を得た自治会館の建物補償及び用地の取得を行う。また、その他の用地についても引き続き交渉及び取得を進めていく。
担当課 農林水産課		

施策や事業の展開例 海岸松林の保全			
概要	令和2年度	令和2年度	令和3年度
本市の貴重な自然環境を良好な状態で次世代へ継承するため、松の植栽や維持管理を市民等との協働で行うなど、保全活動の推進を図る。	令和2年度	令和2年度	令和3年度
担当課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
農林水産課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
施策や事業の展開例 市民参加による緑化活動の推進			
概要	令和2年度	令和2年度	令和3年度
市民の自主活動による花や緑の保全活動を推進する。	令和2年度	令和2年度	令和3年度
担当課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
都市政策課 関係各課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
施策や事業の展開例 市民の森自然観察林の整備			
概要	令和2年度	令和2年度	令和3年度
身近な森林として市民に親しまれ利用される市民の森自然観察林の整備により、森林の整備と保全の重要性の理解や意識の高揚を図る。	令和2年度	令和2年度	令和3年度
担当課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
農林水産課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
施策や事業の展開例 自然環境を活かした防災機能の向上			
概要	令和2年度	令和2年度	令和3年度
市民生活の安全、安心の向上に資する森林の持つ多面的機能を活用するため、海岸松林や森林の適正な整備を実施する。	令和2年度	令和2年度	令和3年度
担当課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
農林水産課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
施策や事業の展開例 公園・緑地の適正な配置・保全			
概要	令和2年度	令和2年度	令和3年度
緑豊かなまちづくりを進めるため、「光市都市計画マスタープラン」や「光市緑の基本計画」に基づき、公園や緑地の適正な配置・保全を推進する。	令和2年度	令和2年度	令和3年度
担当課	令和2年度	令和2年度	令和3年度
都市政策課	令和2年度	令和2年度	令和3年度

施策や事業の展開例 自然に配慮した河川整備		
概要 自然と人とのふれあいの場の確保や自然に対する保全意識の高揚を図る。	令和2年度の実施状況 ・市が管理する準用河川や普通河川の整備や災害復旧においては、河川内の植物や魚類等の生息に配慮した護岸構造を選定するなど、河川環境の保全に努めた。	令和3年度の実施計画 ・引き続き、市が管理する準用河川や普通河川の整備や災害復旧においては、河川内の植物や魚類等の生息に配慮した護岸構造を選定するなど、河川環境の保全に努める。
担当課 道路河川課		
施策や事業の展開例 公共下水道や浄化槽の整備		
概要 市内の下水道認可区域における下水道未整備地区について、効率的かつ効果的に下水道を整備するとともに、下水道整備が困難な区域の合併浄化槽の設置を促進する。	令和2年度の実施状況 ・室積地区を重点的に公共下水道の整備を進め、処理区域面積の拡大と普及率の向上を図った。 ●令和2年度末処理区域面積：984ha(前年度末981ha) ●令和2年度末普及率：81.4%(前年度末81.1%) ・生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、合併処理浄化槽設置に対する助成を行った。 ●下水道認可区域外：8基 ●下水道認可区域内：0基	令和3年度の実施計画 ・引き続き、室積地区を重点的に公共下水道の整備を進める。 ●整備予定処理区域面積：1.4ha ・生活環境及び公衆衛生のさらなる向上のため、引き続き、合併処理浄化槽設置に対する助成を行う。
担当課 下水道課		
施策や事業の展開例 安全でおいしい水の安定的供給		
概要 水質の維持管理に努め、安全でおいしい水の安定的な供給に努める。	令和2年度の実施状況 ・安定した水道水供給のため、老朽管の布設替え及び耐震化を進めた。 ●布設替え：4.5km ●耐震管率：39.1%(R1は37.9%) ・水道管内を洗い流す作業である「水道管内リフレッシュ大作戦」を大和配水系統で実施した。	令和3年度の実施計画 ・引き続き、老朽管の布設替え及び耐震化を進める。 ・水道管内を洗い流す作業である「水道管内リフレッシュ大作戦」を清山配水系統で実施する。 ・清山配水池に連結する基幹管路を耐震化することによって送・配水を確実なものとし、災害に対して強靱な管路施設を構築するための送水管整備事業を開始する。
担当課 水道局		
施策や事業の展開例 鳥獣被害防止対策の推進		
概要 イノシシやサル等の有害鳥獣の捕獲や農地等への防護柵設置等の被害防止対策を推進する。	令和2年度の実施状況 ・有害鳥獣の捕獲を行うとともに、農地への防護柵設置等の被害防止対策の補助を行った。 ●捕獲頭数：イノシシ190頭、サル2頭 ●補助件数：85件	令和3年度の実施計画 ・有害鳥獣の被害防止対策として、被害の頻発している集落を対象として集落環境調査を行い、地域ぐるみ活動対策プランを作成し、農地への防護柵の設置・捕獲・生息地管理に取り組む。
担当課 農林水産課		

施策や事業の展開例		公害防止対策の推進	
概要	大気・水質等に対する環境監視・指導体制の整備や企業等との協定による公害防止対策を推進する。	令和2年度 of 取組状況	・大気や水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底した。
担当課	環境政策課	令和3年度 of 取組み	・大気や水質等についての監視を継続実施するとともに、企業や県等との連携を深め、緊急時における迅速な対応について徹底する。
施策や事業の展開例		公共事業における環境配慮の推進	
概要	公共事業発注の際は、環境破壊や環境汚染の引き起こすことのないよう注意喚起を促す。	令和2年度 of 取組状況	・入札時に配布する資料の中に、施工にあたっては、排出ガス対策型建設機械を使用することを明記した。
担当課	入札監理課	令和3年度 of 取組み	・引き続き、入札時の配布資料の中に、排出ガス対策型建設機器を使用することを明記する。
施策や事業の展開例		文化・歴史的資源の保存・活用	
概要	良好な景観と市民の潤いある住環境を整備するため、文化や歴史的資源の保存・活用を推進する。	令和2年度 of 取組状況	・史跡石城山神籠石のボランティア清掃活動を支援し、環境の美化に努めた。 ・クサフグの産卵場所の清掃並びに産卵状況の監視及び見学者の観察マナーの指導を行い、産卵場の保護活動に取り組んだ。 ・牛島のヒトツバハギの保護に努めた。 ・伊藤公資料館のシアターホール映像を更新するため、リニューアル事業が完了した。
担当課	文化・社会教育課	令和3年度 of 取組み	・文化財や歴史的資源の保存、活用を推進していくため、前年度と同様、各種支援、助成、維持管理、指導等を行う。 ・国指定文化財である石城神社本殿保存修理事業（2か年計画の1年目）に取り組む。

施策や事業の展開例		自然環境を活かしたスポーツ活動の推進	
概要		令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
自然環境を有効に活用し、市民のスポーツやレクリエーション活動を推進する。		・白砂青松の虹ヶ浜海岸において、自然を活用したコースを設け行うランニングイベント「2020 ビーチランHikari」は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。 ・自然豊かなコースにおいて、景色を眺めながら四季を感じるウォーキングイベント「第21回梅まつりコバルトウォーク」は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。	・白砂青松の虹ヶ浜海岸において、自然を活用したコースを設けて、ランニングイベントを開催する。ランニング後には、参加者等の協力による海岸清掃を行い、自然環境保護活動を実施する。 ●「2021 ビーチランHikari」 ・自然豊かなコースにおいて、景色を眺めながら四季を感じるウォーキングイベントを開催する。 ●「第22回梅まつりコバルトウォーク」
担当課			
	体育課		

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①クリーン光大作戦の参加者数	15,869人	8,107人	17,000人	△ 686.3%
②アダプト・プログラムの参加団体数	16団体 (H28)	18団体	20団体	50.0%
③室積・虹ヶ浜海岸における松の本数	42,347本 (H28)	42,255本	42,000本 以上	126.5%
④「自然敬愛都市宣言」のまちの認知度	11.7%	—	35.0%	—
⑤山や森林など自然の緑の美しさに関する満足度	82.0%	—	90.0%	—
⑥川の水のきれいさに関する満足度	79.8%	—	85.0%	—
⑦地域・自治会等での環境美化活動に参加している人の割合	76.1%	—	85.0%	—
⑧鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさに関する満足度	80.9%	—	85.0%	—
⑨生活環境の快適さ(騒音や悪臭がないこと)に関する満足度	71.6%	—	80.0%	—

●参考値

項 目	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)
自然保護や環境保全活動に参加している人の割合	10.7%	9.5%
山・川・海などの自然環境保全に対する満足度	41.1%	40.8%

4 みんなで進める MOTTAINAIプロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例「もったいない」文化の醸成		
概要	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
「もったいない」の精神文化を踏まえた市民の環境意識の醸成を図る。	・新型コロナウイルス感染症対策として「ひかりふるさとまつり」が開催を中止したため、マイバックを配布する取り組みは未実施となった。	・「ひかりふるさとまつり」でマイバックを配布し、使い捨て商品の削減について啓発を行う。また、食品ロスの削減についても啓発を行う。
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例不用品交換システムの充実		
概要	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
市民の不用品情報やフリーマーケット情報の提供など、リユースを推進するシステムの充実を図る。	・ごみの抑制や再使用を促進するための不用品交換システム、リユースネット(キッズ)ひかりを実施するとともに、市ホームページでフリーマーケット情報の提供を行った。 《リユースネットひかり》 ●譲ります:登録58件、成立29件 ●譲ってください:登録46件、成立16件 《リユースキッズひかり》 ●登録141件、成立131件	・家庭での遊休品や不用品の有効活用を促進するため、「リユースネット(キッズ)ひかり」及びフリーマーケットの開催情報の提供を行う「フリマネットひかり」を継続して実施する。
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例市民や事業者へのごみ問題に関する啓発活動の推進		
概要	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
幼稚園や保育園、小中学校での環境学習を継続するとともに、エコショップ認定店での店頭回収品目追加など、制度の充実を図る。	・ごみに関する現状を周知するとともに、減量や再利用等について啓発するため、世代に応じた環境学習や出前講座を実施した。 ●幼稚園児:未実施 ●小学児童:11小学校(415人) ●中学生徒:未実施 ●一般:1団体(60人) ●エコショップ認定店:11店舗	・小学4年生や保育園児、幼稚園児を対象として、ごみの分別体験やじん芥車を活用したごみの積み込み体験などの体験型環境学習を実施するとともに、中学生に向けた環境学習については、各校の状況に応じた内容の充実を図りながら、継続して実施する。
担当課		
環境事業課		
施策や事業の展開例雑がみ再資源化の推進		
概要	令和2年度の実施状況	令和3年度の実施計画
オフィスリサイクルを促進するため、各種会議やイベントで雑がみリサイクルについての周知・啓発を図る。	・再生可能な雑がみの回収に努めた。 ●公共施設からの雑がみ回収量:8,192kg ●市内資源回収団体雑がみ回収量:13,790kg	・公共施設から排出されるメモ紙やプリント等の再生可能な雑がみの再資源化を促進するとともに、市域での回収量の増加につながるよう周知、啓発に取り組む。
担当課		
環境事業課		

施策や事業の展開例		生ごみリサイクルの推進	
概要		令和2年度の取組状況	令和3年度の取組み
生ごみ処理機や段ボールコンポストを活用した生ごみリサイクルの取組みを推進するとともに、家庭で簡単にできる生ごみのリサイクルについても周知する。		・生ごみ減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して助成を行った。 《補助件数》 ●電動生ごみ処理機:11件 ●コンポスト容器:15件 ●段ボールコンポスト:3件	・生ごみの減量化に取り組むコンポスト容器等の購入者に対して助成を行うとともに、ごみ減量等推進委員会議や出前講座で生ごみリサイクルについて周知を図る。
担当課			
環境事業課			
施策や事業の展開例		ごみ処理の有料化制度の実施	
概要		令和2年度の取組状況	令和3年度の取組み
共同でごみ処理施設を使用している周南市・下松市の状況をはじめとする各市町の現状を踏まえ、実施に向けた検討を行う。		・一部事務組合の構成市間において、具体的な方向性を協議するまでには至らなかった。	・一部事務組合の構成市間での情報交換等に取り組む。
担当課			
環境事業課			
施策や事業の展開例		市民ニーズに対応した収集サービスの実施	
概要		令和2年度の取組状況	令和3年度の取組み
必要に応じたごみ分別アプリの品目追加を行うとともに、粗大ごみ等の出張収集サービスを実施する。		・正しいごみ分別の徹底を図るため、ごみ分別アプリの周知を行い、概要版ごみ分別事典(外国語)を作成し、アプリとのリンクを構築した。 ●アプリのダウンロード数 8,738件(前年比2,356件増) ・ごみ置場への搬出や分解が困難な粗大ごみを個別に収集する「ふれあい訪問収集」を実施した。 ●ふれあい訪問収集 632世帯 1,666件	・市民に対してごみ分別アプリの周知を行うとともに、より便利なアプリとなるよう、随時問合せの多い品目を追加する。 ・ごみ置場への排出や分解が困難な粗大ごみを個別に収集するふれあい訪問収集について、継続して実施する。
担当課			
環境事業課			
施策や事業の展開例		えこぱーくを拠点とした再資源化の推進	
概要		令和2年度の取組状況	令和3年度の取組み
ごみ処理施設の見学機会の拡充や各種団体に対するごみ分別の出前講座を実施することにより、市民の正しいごみ分別の徹底を図る。		・ごみ処理施設の見学については、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。	・えこぱーくに搬入されたごみがどのように処理されているかを学び、また、自らごみの分別体験を行うことで、ごみに対する関心や意識の向上を図る。
担当課			
環境事業課			

施策や事業の展開例 環境保全型農業の推進		
概要	令和2年度 of 取組状況	令和3年度 of 取組み
環境への負荷軽減を図り、品質と付加価値が高い農産物の生産を推進する。	・市内の農業者に対して、エコファーマー認定制度を紹介するなど、付加価値の高い農産物の生産を推進した。 ●令和2年度末認定数:11件	・引き続き、エコファーマー認定制度の周知を図り、品質と付加価値の高い農産物の生産を推進する。
担当課		
農林水産課		

●数値目標

環境指標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①1人1日あたりのごみの排出量	975g (H27)	951g	910g以下 (R3)	36.9%
②リサイクル率	28.5% (H27)	28.4%	31.5%以上 (R3)	△ 3.3%
③ごみの最終処分量	1,320t (H27)	1,073t	1,250t以下 (R3)	352.9%
④資源回収・リサイクルの状況に関する満足度	75.2%	—	85.0%	—
⑤生ごみの堆肥化や減量を行っている人の割合	42.2%	—	60.0%	—
⑥使い捨て製品の購入を控えている人の割合	69.0%	—	85.0%	—
⑦古新聞やアルミ缶等の資源回収に参加している人の割合	82.6%	—	90.0%	—

●参考値

項目	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)
資源のリサイクル対策の充実に対する満足度	53.6%	49.7%
ごみの分別をきちんと行っている人の割合	94.7%	95.8%

5 みんなでつなぐ 環境「まなび」プロジェクト

●取組状況及び今後の方向性

施策や事業の展開例			「ひかりエコくらぶ」の創設及び活動の推進		
概要		令和2年度の取組状況		令和3年度の取組み	
次代を担う子どもたちの自然を敬愛する心を育むとともに、様々な環境問題について認識を深めるため、「ひかりエコくらぶ」を創設し、活動を推進する。		・市内の小学1～3年生を対象に自然体験学習を行う「ひかりエコくらぶ」は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。		・新たな隊員を募集し、市内のフィールドを活用した自然体験学習会「ひかりエコくらぶ」を実施する。	
担当課					
環境政策課					
施策や事業の展開例			環境関連講座、講演会等の実施		
概要		令和2年度の取組状況		令和3年度の取組み	
市民の環境意識の醸成を図るため、講座や講演会等を実施する。		・地球温暖化防止や自然環境保全、ごみの分け方、出し方といった観点からの講座や講演会等を実施した。 ●環境学習：1回(37人) ●ごみの出し方等に関する出前講座：1団体(60人) ※新型コロナウイルス感染症対策として、「エコスタイルセミナー」は中止した。		・ごみに対する関心や意識の高揚を図るため、各自治会や各種団体を対象とした出前講座を継続して実施し、市民の自発性を促す普及啓発に取り組む。	
担当課					
環境政策課 環境事業課 関係各課					
施策や事業の展開例			自然体験機会の創出		
概要		令和2年度の取組状況		令和3年度の取組み	
市民の自然敬愛精神醸成のため、自然とふれあう機会を創出し、保全や継承につなげる。		・市内の小学1～3年生を対象に自然体験学習を行う「ひかりエコくらぶ」は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。		・自然の大切さを学ぶとともに、自然を敬愛する心を育むため、「ひかりエコくらぶ」を実施し、自然体験機会を創出する。	
担当課					
環境政策課 農林水産課 関係各課					
施策や事業の展開例			ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアーの実施		
概要		令和2年度の取組状況		令和3年度の取組み	
市民を対象に、多様な環境関連施設の見学機会を提供し、資源循環や低炭素等、環境問題を複合的な視点から考察できるツアーを実施する。		・ごみ問題に対する市民意識の高揚を図るため、ごみ処理施設や再生可能エネルギー施設を見学する「ごみの行方&エネルギーの始まり見学ツアー」は、新型コロナウイルス感染症対策として、開催を中止した。		・ごみ問題に対する市民意識の高揚を図るため、ごみ処理施設や再生可能エネルギー施設を見学することで、環境問題を複合的な視点から考察できるツアーを継続して実施する。	
担当課					
環境事業課 環境政策課					

施策や事業の展開例			小・中学校との連携体制の強化		
概要		令和2年度 of 取組状況		令和3年度 of 取組み	
環境意識の醸成には、学校教育現場での取組みも重要であることから、行政と学校の連携体制の構築及び強化を図る。		・市内各小学校に環境学習の実施について働きかけを行い、1校で実施した。 ・市内中学校で、市内外の企業の環境に配慮した取組み等について学ぶ「ひかり環境未来塾」を実施した。 ●実施数:3中学校(197人)		・市内各小学校に働きかけを行い、地球温暖化や植物、魚類、鳥類についての環境学習を行う。 ・市内中学校を対象に、市内外の企業の環境に配慮した取組み等について学ぶ「ひかり環境未来塾」を実施する。	
担当課					
環境政策課 学校教育課					
施策や事業の展開例			環境教育を担う人材の育成		
概要		令和2年度 of 取組状況		令和3年度 of 取組み	
市民の環境意識の醸成や向上を図るため、環境問題について学ぶ場を提供し、環境教育を担う人材の育成につなげる。		・出前講座「創りんぐ光」において、環境関連のメニューを用意し、市民の学習機会の創出を図った。 ●光高校(1年生:100人)		・出前講座メニューについて、市民ニーズに即した講座メニューに集約、見直しを行い、講座内容の充実を図る。	
担当課					
環境政策課 地域づくり推進課					
施策や事業の展開例			”光”版環境学習帳の作成		
概要		令和2年度 of 取組状況		令和3年度 of 取組み	
光市の自然や多様な環境について学び、継承につなげていくため、環境学習帳を作成する。		・市内小学校における環境学習の現状について調査を行った。		・時代に即したものとなるよう、作成方法等についての方向性を検討する。	
担当課					
環境政策課					
施策や事業の展開例			地域での環境教育の促進、支援		
概要		令和2年度 of 取組状況		令和3年度 of 取組み	
地域での特徴ある環境教育につながる取組みを促進するとともに、より効果的なものとなるよう支援する。		・環境保全団体が主催する自然体験学習会に対して後援し、広報に募集記事を掲載するなどの支援を行った。		・地域や諸団体が行う環境教育に対する支援を行い、自然保護や自然敬愛につながる取組みを促進する。	
担当課					
環境政策課 関係各課					

●数値目標

環 境 指 標	策定時 (平成29年度)	近況値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)	進捗率
①環境学習・自然体験学習等の開催数	60回	17回	65回	△ 860.0%
②環境学習・自然体験学習等の参加者数	4,448人	809人	5,000人	△ 659.2%
③自然とのふれあいの機会の多さに対する満足度	76.1%	—	85.0%	—
④環境に関する講演会やシンポジウムに参加する人の割合	18.9%	—	25.0%	—